

## 会議録

会議の名称	令和6年度第4回座間市子ども・子育て会議		
開催日時	令和7年2月13日（木） 10時～11時		
開催場所	市役所5階 5－3会議室		
出席者	佐藤市長、大下会長、菊地副会長、飯田委員、高松委員、小多喜委員、麻生委員、阿部委員、内木委員		
事務局	こども未来部（白井部長）、こども家庭課（曾我課長、園こども総務係長、原主任、植野主事）、保育・幼稚園課（田崎課長、木村保育園担当課長、小澤施設整備係長、柿崎主事）、株式会社ぎょうせい		
会議の公開可否	■公開 □一部公開 □非公開	傍聴者数	0人
非公開又は一部公開とした理由	—		
議題 報告	座間市こども計画原案について 特定教育・保育施設等の利用定員について		
資料の名称	資料1 諮問書（写） 資料1－1 座間市こども計画（原案） 資料1－2 座間市こども計画（素案）からの変更箇所 資料1－3 意見公募手続き（パブリックコメント）による意見一覧及び回答 資料1－3－1 意見公募手続き（パブリックコメント）による意見一覧及び回答（追加分） 資料1－4 座間市こども計画（原案）に係る事前質問・意見一覧 資料2 令和7年度特定教育・保育施設等の利用定員 資料3 座間市子ども・子育て会議規則及び委員名簿		
会議の結果			
議題 報告	座間市こども計画原案について、説明・質疑応答を行ったうえで、答申書の作成は会長一任となった。 特定教育・保育施設の利用定員について、報告・質疑応答を行った。		
議事の詳細			
○諮問 子ども・子育て会議規則上、「子ども・子育て支援事業計画」が諮問対象であるが、計画改定に当たり「座間市こども計画」を策定することから、佐藤市長から大下会長に「座間市こども計画（原案）」を諮問。			

事務局	<p>○開会</p> <p>子ども・子育て会議委員 12 名中 8 名が出席し、座間市子ども・子育て会議規則第 5 条第 2 項により会議が成立。</p> <p>事務局出席者の紹介、資料確認後、座間市子ども・子育て会議規則第 5 条第 1 項により大下会長が議事を進行。</p>
事務局	<p>○議題（座間市こども計画原案について）</p> <p>資料 1－4 を中心に説明。</p>
委員	<p>＜資料 1－1 の 29 ページ、資料 1－4 の通し番号 2 番＞</p> <p>計画の基本理念「全てのこども・若者が安心して輝くことができるまちを目指して」について、『輝く』という言葉だけを見ると、特定の成績を収めないといけないような、輝くに至れていないこどもたちに対する配慮に違和感がある。そして、パブリックコメントにおいても類似の言及をしている方が一人いるが、市の回答は「こども自身が個性の発揮・尊重を自ら選択でき、市全体でこどもを支援・後押しする」ことからこの理念文言を採用したとのことであった。「尊重」という表現はとても重要であり、基本理念の文言を変えないのであれば、市の考えをより明確に伝えるため、先の市回答を追記できないか。</p>
委員	<p>追記に賛成である。昨今、こどもの「個性」は非常に大事であり、それを尊重するとしっかりと計画に記載することはやはり大事でないか。</p>
会長	<p>会として追記する方針で答申することによいか。</p>
各委員	<p>異議なし。</p>
会長	<p>答申で追記する形で進めたい。</p>
会長	<p>＜資料 1－1 の 40 ページほか、資料 1－4 の通し番号 3 番＞</p> <p>前回会議で「こども誰でも通園制度」の事業内容「適切な遊び及び生活な場を与えて、」の『適切な』について、利用していない者が不適切ととられかねないと会議内で言及があり、事務局も原案で削除している。前回言及がなかった児童ホームに同様の表現が未だ残っているのは、特段の意図はなく、修正漏れか。</p>
事務局	<p>修正漏れである。御容赦願いたい。</p>
会長	<p>＜資料 1－1 の 70 ページ、資料 1－4 の通し番号 6 番＞</p> <p>事前意見において、こどもの意見聴取に当たり、こどもが気持ちや意見</p>

をより表現できるよう、計画に追記すべき良い文言例を示して頂いた。  
他に参考となるような文言や、変更すべき箇所等あるか。

委 員 この場で具体的な文言は思い浮かばないが、事前意見記載の文言例は  
こどもと寄り添って歩くような、非常に温かい印象がある。他に意見が  
ないのであれば、この文言でも良いのではないか。

会 長 文言例の意味合い、含みを持たせたような文章で肉付けする方針で答  
申してよいか。

各委員 異議なし。

会 長 答申で追記する形で進めたい。

＜資料１－１の７４ページほか、資料１－４の通し番号８番＞

会 長 ３号認定の「量の見込み（需要量）」に、より説得力を持たせるため、  
計画期間の各年度における年齢１歳ごとの推移を記載すべきとの意見  
であるが、記載する方針でよいか。

各委員 異議なし。

会 長 答申で追記する形で進めたい。

＜答申書について＞

会 長 答申書については、本日の委員意見を踏まえたうえで、計画が最善のも  
のになるよう私に一任して頂いてよいか。

各委員 異議なし。

会 長 責任をもって進めさせていただく。

○報告（特定教育・保育施設等の利用定員について）

事 務 局 資料２を使用して報告。

＜資料２の１８番 ナーサリースクールＴ＆Ｙ相模が丘＞

委 員 ナーサリースクールＴ＆Ｙ相模が丘の分園設置について、園のＨＰに  
詳細が未だ掲載されていないものの、この資料の記載振りからすると、  
現在の２倍相当の定員となる０～２歳児が新たに開園する「分園」を使  
用し、３歳以上が既存の園を利用するような理解でよいか。

事 務 局 委員発言のとおりである。

＜その他＞

会 長            その他、委員からの発案、審議すべき案件等あるか。  
各委員            事案なし。

○閉会

事 務 局            次回会議については、場合によっては新年度になる可能性があるが、日  
                          が決まり次第、速やかに各委員へ連絡。